

太田市政 3期目スタート

目指すは一つ上のまちづくり



初登庁で花束を受け取る太田市長(右)

この度の市長選挙におきまして、引き続き市政運営を担わせていただくことになりました。改めまして、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

『新生匝瑳』に取り組んだ8年を振り返り

これまでの8年間は、「新生匝瑳のまちづくり」のため、全力で取り組んでまいりました。中学生までの医療費の無料化や、3人目以降の保育料の無料化などの子育て支援施策をはじめ、マニフェストに掲げた施策は一定の成果を上げ、市民の皆様の負託に応えることができたものと考えています。しかしながら、先例のない人口減少と超高齢化が進む現状は、本市を取り巻く環境を一段と厳しいものにしており、市民病院の経営健全化や施設整備、広域ごみ処理施設の整備などは喫緊の課題であります。



市民参加のまちづくりを進めるため、太田市長と市内高校生が意見を交えた(昨年)

次の匝瑳につなぐ基本方針

3期目のマニフェストでは、「一つ上のまちづくり」を目指し、「市民とともに創る協働のまち匝瑳」をスローガンに、次世代の匝瑳につなぐ基本方針として、「安心・安全」、「産業振興」、「市民参加」の三つのまちづくりを掲げ、取り組んでいくことを約束しました。そして、その実現のための重点施策として、市民の皆様が健康で生きがいを持って、安心して暮らすことのできるよう「健康・福祉・医療・

太田安規市長が2月5日、選挙後初登庁し、多くの市民の皆さんの盛大な拍手で迎えられました。市役所玄関前で花束を受け取った太田市長は「市民の皆様への期待に応えるため、「一意専心」まちづくりに取り組んでいきたい」と3期目に向けて抱負を述べました。

匝瑳市長 太田安規

介護の充実」、各種産業の生産・経営基盤の強化を図るため「地域経済の活性化」、快適で利便性の高い生活環境づくりのため「都市基盤整備の促進」、市民一人ひとりがお互いを尊重し、それぞれの能力と意欲を十分発揮できる環境づくりのため「生涯活躍できる人づくりと交流活動の促進」、市民と行政が一体となって「ともに考え、ともに行動する」体制の充実を図るため「市民参加による市政の推進」の五つの分野に重点的に取り組んでまいります。

これからの4年間、市民の皆様には「匝瑳市に住んで良かった」と実感していただける、活力と魅力あふれるまちづくりのため、柔軟な発想と「今日より明日を必ず良くする」という強い決意で、一意専心取り組んでいく所存でありますので、引き続きご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大雨によって崩落した県道(平成25年10月)

むやみに移動を開始せず 落ち着いて行動を

大規模災害の発生時は、交通機関のまひなどで帰宅が困難になります。こうした場合、むやみに移動を開始せず、身の安全の確保や情報収集など、落ち着いた行動を取るようにしましょう。

勤務先や学校など、自宅から離れた場所にいるときに大規模な災害が発生すると、直接的な被災だけでなく、安全確保のための公共交通機関の停止や道路の通行規制などで帰宅が困難になることが予想されます。

そして、こうしたときに多くの人が一斉に帰宅を始めるなど、火災や沿道の建物からの落下物などによって負傷する危険があるだけでなく、救助・

救急活動の妨げになる可能性があります。

このため、災害発生時にはむやみに移動を開始せずに、落ち着いて身の安全の確保や情報の収集に努めることが重要です。

また、普段から、家族などと安否確認の方法を話し合うなど「日ごろの備え」にも心掛けましょう。

問 総務課消防防災班

☎ 73・0084

被災直後は身を守ることを最優先に

危険から自分の身を守ることを最優先に、落ち着いて行動しましょう。

- 身の安全を確保し、職場や集客施設などの安全な場所で待機する。
- 「災害用伝言サービス」を活用し、家族の安否や自宅の無事確かめる。
- ラジオやスマートフォンを活用し、交通情報や被害状況などを入手する。



日ごろからの準備を忘れない

特に、学校や勤務先で災害に遭うことを想定して、普段から準備をしておきましょう。

- ラジオや地図を普段から携帯する。
- 歩きやすい靴(スニーカーなど)や懐中電灯、手袋、飲料水、食料を準備しておく。
- 家族で安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- 学校や勤務先などからの徒歩による帰宅経路を確認しておく。



要援護者役の男性をリヤカーに載せて移動訓練を行う住民

自助・共助で 災害に備え

飯高特別支援学校で避難所開設訓練

飯高特別支援学校で2月20日、避難所開設訓練が行われ、児童生徒の他、地元住民ら約50人が参加しました。

これは、災害発生時の指定避難所である同校が、地域と連携して自助・共助の意識と危機対応能力を高めることを目的として実施したものです。住民らによる移動訓練では、自主防災会の誘導で、経路の選定や危険回避のために注意すべきことなどを確認しながら約200m離れたコミュニティセンターから同校まで徒歩で移動しました。この他、児童生徒による災害時に役立つ知識や技能の学習などが行われました。

3/14(水)
11時～

Jアラート 全国一斉情報伝達訓練

全国瞬時警報システム(Jアラート)を通じた国からの緊急情報を確実に伝えるため、防災行政無線放送を利用した伝達訓練を行います。

《訓練の内容》

- ①(チャイム音) 訓練日時に、戸別受信機と屋外スピーカーから次の内容を一斉放送します。
- ②「これは、Jアラートのテストです」と3回アナウンス
- ③「こちらは、ほうさいそうさです」と1回アナウンス

④(チャイム音) 《戸別受信機の貸し出し》

本市の住民基本台帳登録世帯に防災行政無線の戸別受信機を貸し出しています。貸し出しは無償で、1世帯につき1台です。希望者は左記まで連絡してください。



問 総務課消防防災班

☎ 73・0084